

兩岸對話再開時期で辜氏 中国のWTO加盟後

長野県松本市で開かれて
いる日台識者による国際会
議「第十二回アジア・オー
ブン・フォーラム」出席の
ため来日中の台湾の総統府
国策顧問、辜濂松氏は三十
日、産経新聞に対し、中断
している兩岸(中台)対話
再開について、中国の世界
貿易機関(WTO)加盟後
の時期がポイントとなると
の考えを示した。

辜氏は、大陸への投資問
題など台湾経済界で極めて
大きな役割を担う中国信託
商業銀行董事長で、日本の
経団連に相当する工商協進
会理事長でもある。

中台関係は昨年七月に李
登輝前総統が「二国論」を
提起、対台窓口機関である
海峽兩岸関係協会の汪道涵
会長の訪台が中止され、中
断したままとなっている。